

# 重陽の節句を知る・学ぶ・楽しむ

## 「おとなのひなまつりを京都から」

●令和元年10月14日(月曜日・祝日) 〈開場・受付開始〉11時 / 〈開宴〉11時30分

●京都ホテルオークラ「暁雲」 ●お一人様 12,000円 (お料理・お飲み物・消費税含)

第二回

# おとなの

# ひなまつりへ

# ようこそ!

江戸時代には秋の重陽の節句の時期にお雛様をもう一度出して虫干しして飾るといふ「後(のち)の雛」の習慣がありました。

男女年齢を問わず、ご家族・ご友人・お仲間が菊花の季節に集い、健康長寿を祈り・祝うためのお雛様を飾って、楽しいひと時を過ごす

「新たな秋の行事としての重陽の節句」おとなのひなまつり」を京都で開催。

当日のドレスコードは「Something Red」です。  
元氣やパワーを与えてくれるビタミンカラーの「赤」を身につけて、  
令和元年の秋、おしゃれをしてご参加ください!



### 催しのご案内

吉岡幸雄さん・畑正高さん・林美木子さんをゲストにお迎えして、「五感で楽しむ重陽の節句」をテーマに座談会を開催いたします。

加えて「重陽の節句の新たな楽しみ方」の御提案や大抽選会、宴の後には「重陽の節句に着想を得た文化体験会や工芸品・菓子などの販売」も行います。京都・日本が世界に誇る生活文化を、より身近に感じていただきたいと思います。

お申し込みは裏面をご覧ください



**吉岡 幸雄** (よしおか・さちお)  
染師・染織史家・「染司よしおか」五代目当主  
早稲田大学卒業後、家業を継ぐ。植物・天然染料による染色を専らとして、日本の伝統色と染色の歴史を研究。数々の国宝の復元に取り組み、「菊池寛賞(2010年)」「NHK放送文化賞(2012年)」を受賞。2011年に「吉岡幸雄と染司よしおかの情熱」を扱ったドキュメンタリー映画「紫」が完成し、全国各地で上映が始まる。2016年には英国のV&A博物館に「日本の色70色」が永久保存。



**畑 正高** (はた・まさたか)  
香老舗 松栄堂 主人  
同志社大学卒業後、松栄堂(1705年創業)に入社。1998年に代表取締役社長に就任。事業だけでなく環境省「かおり風景100選」選考委員などの公職を務め、香文化普及発展のため国内外での講演・文化活動にも意欲的に取り組む。著書に『香清話』(淡交社)、『香三才』(東京書籍)、関連書籍として『香千載』(光村推古書院)などがある。



**林 美木子** (はやし・みきこ)  
有職彩色絵師  
京都芸術短期大学日本画コース卒業後、彩色絵師の仕事始める。大和絵の伝統画法による作品は高い評価を受け、1987年に降各地で個展を開く。2018年には「ブルガリアアウローラアワード」を受賞。父は「桐壺人形」の重要無形文化財保持者(人間国宝)の林駒夫。著書に『王朝のかたち』(猪熊兼樹氏との共著・淡交社)がある。

〈主催〉「おとなのひなまつりを京都で」実行委員会 〈共催〉一般社団法人和食文化国民会議

〈協力〉文化庁 地域文化創生本部 

〈後援〉：京都府・京都市・京都商工会議所・京都府中小企業団体中央会・KBS京都・京都新聞・(特非)女性と仕事研究所・(特非)働きたいおんなたちのネットワーク、他